

第 1 回大楠幼稚園跡施設検討会議事概要

■日 時：令和 5 年 8 月 17 日（木）10:00～12:00

■場 所：大楠幼稚園 2 階遊戯室（プレイルーム）

■名 称：第 1 回大楠幼稚園跡施設検討会

■出席者：大楠連合町内会 新倉 繁会長

芦名町内会 高橋会長

長坂町内会 青木会長

秋谷町内会 鈴木会長

久留和町内会 新倉 和夫会長

大楠小学校 井上校長・土川 P T A 会長

大楠幼稚園 小菅園長・永井保護者代表

大楠地区民生委員児童委員協議会 玉泉会長

大楠地区社会福祉協議会 長塚会長

■説明者：福祉施設課 青木次長（課長）・吉崎主査

子育て支援課（放課後児童対策担当）田中担当課長・篠崎課長補佐

子育て支援課（青少年会館） 蛭田主査

西行政センター 松尾館長

教育政策課 飯田次長（課長）・大堀課長補佐

学校管理課 二見課長

F M 推進課 山中課長・石川課長補佐・長谷川主任

■内 容：皆さまからいただきたいご意見についての説明

（別紙「皆さまからいただきたいご意見について」により）

1. 居場所機能について
2. 放課後子ども教室について
3. 放課後児童クラブ（学童保育）について
4. 大楠地区ボランティアセンターについて

■結 論

- ・学校と隣接しているという性質上、多世代の人が集まる場とするのであれば、管理体制や運営ルールを早急に決める必要がある。
- ・活動内容、安全面、管理責任、開館時間については、特に慎重に検討する必要がある。
- ・施設を利用していない人も含めた地域からの意見の吸い上げ方法を検討する。
- ・アンケート結果については第 2 回の時にお知らせする。

（質問・意見）

昨今、学校や幼稚園など、色んなところで犯罪も多く、そこに一日中大人が不特定多数出たり入ったりするのは非常に危ないのではないかと。

できるなら、子ども専門の学童などにして、他は、全部老人福祉センターに移すなどの対応をしないと難しいのではないかと感じる。別個の環境ならいいが、学校と隣接している環境の中でどうか。子どもがうるさいというような老人もいる。大義名分は子どもから大人までという環境はいいが、うるさいとか、いたずらするとか非常に難しい面もあるのではないかと。佐島の丘では騒音についての苦情もある。

（回答）

秋谷老人福祉センターには、民間とも協力をしながら、地域の人が使えるスペースを別途設ける方向で、廃止説明会の時にも地域の皆さんには既に説明しているところです。

青少年の家で言うと、一番使っている利用者数としては、小学生のお子さんの割合が多いですが、平日の午前中に小学生は来ません。その時間帯をいろんな世代の人が使えるような形に見直し、世代間でのすみわけができていますと考えています。

人口が減っていて、やはり公共施設の数で少し整理していかないと、次世代の人たちに過度な負担を強いることになります。そういう中で一つの施設を年齢限定で使うという使い方はこれからの時代にはなじまないと思います。どの場所もどの世代の人が使えるという場所にしていきたいと思っています。

（質問・意見）

居場所機能は全くイメージが分からない。懸念材料がとても多いと思う。そもそも誰が管理するのか、何かあった時に誰が対応するのかなど、しっかり責任の取れる常勤の方がいないと絶対難しいだろうと思う。

動線の部分にも懸念点がある。幼稚園側を通過して通学・登校する子どももいる中で、車両と交錯しないかが心配。また、プールは校舎からちょっと離れたところにあるので、そこに移動する時の動線も検討する必要がある。

様々な人が出入りする居場所機能を整備すると同時に、学校としての機能や子どもの安全を確保するのは、すごく課題が大きいと感じている。

（回答）

横須賀市では、学校施設に隣接するような形で、多世代の人に使っていただく場を設けるというのは初めてで、先行事例という形になり、心配される部分はかなりあるかと思っています。市として責任をもって、ご指摘いただいた課題を一つ一つ解決していかなければならないと思っています。

（質問・意見）

秋谷老人福祉センターは、現状、どんな形で活用されているのか。

(回答)

秋谷老人福祉センターは、個人利用と団体利用という形で利用できます。

団体の利用は、主にサークル活動されている方達が、大広間などを使って踊りの練習などで利用しています。

個人利用という形で予約もなく、ふらっとその人の思いのまま、もしくはお友達同士で囲碁や将棋をされる方もいます。ご近所の方ですと、毎日もしくは週 2 回ぐらいで利用されるという方もおられます。

また、近隣にお住まいではない個人利用の方で、大楠山にハイキングした帰りに寄られるという方もいらっしゃるようです。

(質問・意見)

青少年の家も含めて、どのような地域の方がどんな時間帯に利用しているのか、把握していないのか。例えば、老人福祉センターは車で通う秋谷の人がほとんどで、青少年の家は芦名の人がほとんどとか、そういった情報は持っているのか。

(回答)

秋谷老人福祉センターについては、60 歳以上の方がご利用できるという施設になっております。年齢的に急に体調を崩されたりする懸念があるので、住所や緊急連絡先をいただいています。

基本的に駐車場が少ないので、近隣の方が来られていることが多いのかなと思います。バスを利用してここまで来る方は、ほぼいないのではないかと思います。

青少年の家もほぼ芦名の人達だけが使っているという印象です。

現状の青少年の家の利用時間帯のすみわけとしては、午前中がお年寄りで、その他の成人については、夜間 8 時～9 時の利用が多いです。跡施設の利用時間帯については、今後の検討課題だと認識しています。

ご意見として、時間帯で区切って、その時間帯は地域の高齢者の方専用と、子ども専用にするなどの使い方もあるとご提案いただきました。

本日は第 1 回目ということで、出来る出来ないは別として、心配になっている事や、こうなったらいいなというご意見を出していただけるとありがたいです。

市で皆さんからいただいた意見を調整させていただき、ご説明するという形で、回を重ねるごとに具体化されるようにしたいと思っています。

(質問・意見)

居場所機能とは何をする場所で、誰が対象で、管理者は誰なのか。

また、放課後児童クラブは、誰が対象で、有料・無料のどちらなのか。利用可能な時間帯や、土日・夏休み期間中は利用できるのか。すべての学校でやっているのか。など色々と分からないことがある。

(回答)

放課後児童クラブ（学童）は、共働きの世帯や、一人親の方が就労するにあたって、学

校が終わった後も仕事が終わらないので、その時間に子どもを預かる施設になります。

平日も7時から8時頃までやっており、土曜日も開設している学童が多いです。他の地区でも学校の中に入っており、学校がやってない時でも学童専用の出入り口があるので、出入りできます。エリアは区切ってそれ以上出ないように運営者がいて、その運営者が施設の管理をしています。

一方で、放課後子ども教室は就労しているしていないにかかわらず、子どもたちが遊んだり、講座を体験したりということが出来ます。地域の方のボランティアのご協力をいただいて、子どもたちが遊ぶのを見守り、勉強などを教えていただく形です。

居場所機能は色々ありますが、青少年の家は先ほど言ったように、9時から13時以外の時間は基本的に予約せず、ふらっと来て、例えば図書室で勉強、空いてれば卓球など、気軽に来て、もし知り合いに会えば、その輪が広がっていくという場になります。自分なりの時間の過ごし方が出来ればといいなというのが、基本的な居場所機能のイメージと思っています。

（質問・意見）

大楠小学校で一番危惧しているのは学校の敷地内であることである。夏休みなどに子どもも居て、お年寄りは将棋などやっているような環境になるとのことだが、先程の防犯の問題もある。

子どもから大人までが過ごせる場所は、すごく望ましいと思うが、隣で小学校の音楽の授業をやっている中、不特定の人が集まってくるというのはどうなのか。本当にそういう場所に適してるのかを十分に考える必要がある。

居場所機能や放課後の子ども教室のランドセル置場など、誰が管理して、責任が取れるかを明確にしてもらえれば、可能になると思う。あまり後ろ向きなことばかり言っていると何もできない。だからこそ運営ルールや施設管理をしっかり決めていけば、話も進むと思う。

（質問・意見）

学校の管理上の問題点として、学校の先生達は夕方17時が原則勤務時間で、子どもが16時50分までには下校する。学校では、校庭で遊ばれた時に責任がとれないことが困るわけで、そこに、今まで青少年の家に来ていた利用者、例えば高校生や卓球団体が徘徊したりするようになった場合に、どのように対応するのかが気になる。

フリーの時間帯に、どういう人に使わせるか、使わせた時にどう地域として向き合うかを考える必要があり、うまく時間帯や安全面をすり合わせる事ができれば共有可能ではないかと思っている。

学童保育、放課後子ども教室、かたや有料でかたや無料で好き放題やっているという状況になった場合に、その保護者の代わりに面倒を見る人たちが必要だと思う。

例として、私のいる小学校は生徒がいる間、ゲートをみんな閉めて入れないようにしている。普段出入りしない人などが入る時には、学校に連絡して入るようにしている。そういった対応をしなければ、不特定多数の人が利用するというのは非常に難しくなってくる

と思う。逆に土日で生徒がいない時なら、もう少し柔軟に使えるのではないか。平日に朝から晩まで利用できるようにするには、よく検討しないと困難であると思う。

（回答）

皆さんの懸念事項として、管理に関する問題がかなりありました。そこは市としても対策を地域の皆さんと一緒に考えていかないと強く思っている。

（質問・意見）

今よく言われている「誰も一人にさせない」というスローガンがあるようだが、安全面などを始め、いろんなことを考えていかないといけない中、そう簡単なことではない。

ちなみに安全面が確保できる前提で考えた場合、青少年の家がこれだけ利用されてるということを考えたら、廃止後もその機能は必要であると考ええる。青少年の家がなくなったときに、代替えとしては、やはり近くの幼稚園の辺りがよいと思う。青少年の家の需要は絶対あると思うので最優先で考える必要がある。

また、学童のスペースはなぜ 1 階なのか。

（回答）

部屋のレイアウトについて、なぜ 1 階でやるかと言うと、外に直接出れる扉を設置する必要があるからです。そういう形で出入りを分けて、学校の管理と別の場所として棲み分けをしている事例が多いので、その点を考慮しています。

（質問・意見）

図面の中でも少し記載されているが、③と④の部屋が放課後児童クラブとして、教室 2 つ分と書いてあるが、その右側の備考に建物の端を希望と記載している。

これは、しっかりと管理を分けるという意味で、学童クラブは建物の真ん中に持っていくのではなくて、管理をしっかりと分けるんだったら端の方がいいんじゃないかという思いからそう記載している。学校の玄関から入るのではなくて裏手にドアがあって、そこからみんな出入りして出入り口を分離する。学童の利用者は、そういった安全面が考慮されているという前提で、利用料を払っている。

実際には、お金がもったいないから学童を利用しないという親も出てくるとは思いますが、一定の棲み分けは、恐らくできるのではないかと思っている。

また、西には行政センターがあるので、お金を払えば、予約して利用できる。フリーに使えるのは、現状、青少年の家と老人福祉センターだけで、そのサービスは、やはり我々としては今後も続けてほしい。

（回答）

特定の団体さんが占有して使いたいという場合は、原則有料としています。例えば、卓球にしても、誰でも来た人が順番に使えるような場であれば、無料にするという線引きをしています。

公共施設の有料化は 2 年前から行っています。コミュニティセンターなど、それまで無料だったものを 2 年前に有料化しています。その時に青少年の家も有料化を検討しました

が、廃止の時期が近いということで、あえて無料のままにした経緯があります。

（質問・意見）

後ろ向きで申し訳ないが、学童保育の子、放課後子ども教室の子、さらには青少年の家で自由に遊んでる子たちもいるとなると、トラブルがあった時、学童保育同士の子どもであれば学童保育の先生が対応するが、救急搬送になるような、そんな事故があったとか、怪我があったとか、さらにそこに青少年の家で卓球してきた子が絡んでくるとか、そういった場合に、責任の所在が非常に複雑に難しくなってくるので、想定はしておいたほうが良いだろうと思う。

ただ、実現できれば、こども同士が仲良く遊んでいたりしている中で、高齢者の方も一緒に触れ合ったりできたり、豊かな交流が生まれてよいと思う。

（質問・意見）

ボラセンについて、おかげさまで今とだいたい変わらないような大きさを検討いただいたようで、30 平米であれば、事務室は入れると思う。ただ、現在の場所では、車椅子を10 台ぐらい置いており、活動するスペースは、机を2つ並べていっぱいになってしまう。

付属する会議室がどこにあるか分からず、共通の会議室が設置されるのか、また設置する場所があるのかどうか気になっているので、ボランティアセンターとしての要望を出させていただきたいと思う。

例えば会議室にしても、専用ではなくて、共用できるようなスペースみたいなものがあれば、ボランティアセンターで主催する以外の様々な活動にも対応できると思う。活動自体は、月に何日もないが、部屋がないと不便ではある。

（質問・意見）

ボランティアセンターの話が出たが、何でもかんでもこの施設に集約するのではなくて、もう少しボランティアセンターの場所を考えてもいいのではないかと。

放課後子ども教室について、各校に設置する方向で進めているが、どう開設されるのか。今の青少年の家と同じように、見守りの人が勉強を教えたり、宿題を見たりすることはないのか。単純に場所を貸すだけなのか、その具体的な内容を知りたい。

（回答）

放課後子ども教室の利用方法については、在校している小学校の児童は事前に登録していただければ、出欠席のような連絡は特に必要ありません。QR コード登録していただき、市がお送りするカードを持ってきてかざすと、登録いただいた保護者の方に、入退室のお知らせがいきます。

（質問・意見）

実際に青少年の家に子どもたちを行かせているが、多世代の方との交流ももちろんやってほしいし、いろんな経験をしてほしい気持ちもある。でも、やっぱり一番は、今青少年

の家の運営時間は、夏場は 18 時まで、冬場は 17 時までで、おやつも持ち込み可で、放課後に体を安全な場所で動かせるという居場所があるのは、すごく保護者としては助かっていて安心して仕事にも行ける。子どもたちがそこに行けば安全に遊べ、室内で遊びたい子は遊べるし、体を動かしたい子も遊べるという点については、現状と変わらない内容が確保された施設になってくれると助かると、周りのお父さん、お母さんも思っている。

先ほど冒頭で出た駐車場の問題ですが、今ここの園庭をどう使っていくかは、まさに青少年の家にあった求められている機能を持ってくるためのものなのではないかなと感じている。そういったご意見を参考に、どうしていくのか検討が必要だと思う。

多機能施設として運営していく上で懸念点は絶えないと思うし、その入れ込む要素によってバリエーションも出てくると思うので、具体的な安全面、例えば管理体制については、これからもっと内容が具体的になってきた段階で検討していく必要があると思っている。

また、町内会長等の皆さん、それに各学校等の代表の皆さんに集まって、このように話をしているわけなんですけど、果たしてどこまでその所属する各団体の意見を吸い上げができていくのかというところに疑問がある。

皆さんは、代表として長らく務められているということもあり、様々な人の声をいただいていると思うが、あくまで今皆さんの経験の中で心配な部分、不安な部分っていう点を挙げているような状態にあると思う。しかし、実際にこの大楠幼稚園の跡地を再利用して活用していこうという市の意向自体が、非常にありがたいことだなと思う。

その機能を最大限に使っていく上での前向きな利用方法について、意見をどこまで吸い上げることができるか、近隣の人しか利用していないのではないかと、といった懸念もある。

（回答）

前向きな話としてどのように利用していきたいかということを考慮する上では、やはり地域の皆さんの意見の吸い上げというのは大前提になるかと思います。

ご意見箱を、大楠青少年の家と秋谷老人副センターに置いているところですが、今どれくらい集まっているかを確認したいと思っています。

（質問・意見）

施設を利用していない人の方が多いと思うので、施設にアンケートを置くだけで意見を吸い上げられるのかという疑問はあって、PTA のマチコミの中でアンケートを実施した。8 月 31 日まで集計をしており、既に 3 日間で 136 名の方にお答えをいただいた。中には利用していないという答えもあり、本当に様々な意見がある。期待したいところと、今までちょっと足りなかった、充実してほしいというようなことなど、本当に前向きな意見がたくさん集まっています。これらを検討要素として考えていただきたい。PTA の会員もしくは元 PTA の会員の方に送っている状況なので、まずは少し検討していただきたい。

アンケートにもあるが、青少年の家と老人福祉センターの両方の機能を全部ここで補うのは難しい、全部詰め込んだからよいわけではない、という意見もあると思う。

逆にこれを機に行政側でしてくれるサポート、この中でできるものと、あとは地域であまり利活用できていない団体、その横の連携の中で解消していけるような課題もあるのではないかなと思っている。まさにそれがこの検討会でやるべきことではないかなと思うところ

ろがある。

行政にお任せではなくて、既存スペースとか、町内の別施設の活用っていうのも、これを機に考える必要があるのではと思う。

大楠地区再編の説明会だけでは、不十分だと思う。いろんな方法でやる必要があるし、そもそも周知の部分が全く足りてないという現状があるので、まずそこから考え直し、意見を吸い上げた上で、具体的な策を講じていく方がよいのではないかなと思う。

また、PTA ということでも考えた時に、多世代の方がここを使う時、やはり安全面というのが一番懸念事項に上がってくるわけだが、多世代の交流の中であっても、子どもたちの教育にとってプラスになるような交流というのが大前提として考えられているというのが、おそらく多くの賛成を得られることにつながると思う。先ほどボラセンからの話だったが、これから入れていこうとしているボラセンとか、それから学童保育の方たちと話し合いをして、その話し合いをした結果が何かこの資料の中にあれば良いと思う。

そうすると、私たちも今後どうやってこの学童保育を使っていくのかが分かりやすくなると思う。ボラセンに会議室ミーティングルームがないという点についても、その他の要素も含めて話し合うことが必要だと思う。次回会議の中で、少しでも検討した結果を出してもらえればと思っている。よろしくお願いしたい。

（質問・意見）

幼稚園の方でもこの夏から大々的な片付けに入った。先ほどの部屋の問題にも絡んでくるが、この施設の強みとしては部屋数が多い点である。使っていない小部屋は、会議室などに十分活用できる。幼稚園の道路沿いにある花壇を活用し、中学校とか小学校、花いっぱいボランティアをやっているが、地域の方がいろんな交流の形で野菜を育てたり、会話に使えるのではないかなと思っている。

（回答）

ご意見ありがとうございます。お答えできないことがほとんどだったと思いますが、まずは意見をお伺いし、次に向けて今日いただいたところを少し整理したいと思います。

秋谷老人福祉センターと大楠青少年の家で2回ほど廃止説明会をさせていただきましたが、その中では、幼稚園施設を有効活用させていただくことについてご意見をいただいています。ただ説明会には、各回 10 人以内ずつぐらいしか来ていないのが実情です。各会場でもここに来ていない人の意見をどう集めるのかという話もいただいた中で、意見箱を設置しました。ホームページにも意見を書き込む様式を載せて対策もさせていただいたところです。ただ、やはりまだ意見を伝えきれてない人がいるというのはあると思います。もう少し、地域の声を拾い上げられるような、手段がないかどうか検討させていただきたいと思います。